

発刊にあたって

報告書を発刊するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。サステナビリティ研究所は、運営規程によれば、各部局の教員が横断的な研究を行い、その成果を社会に提供して持続可能な循環型社会形成と地域活性化に資するとあり、同時に教育にも貢献することがその目的とされています。

今年度は本目的のために複数の研究が採択されましたので、この研究成果が将来、教育や地域活性化に繋がることを期待しております。情報提供や成果の普及といった観点から、環境白書をテーマにしたシンポジウムと特別シンポジウム「バイオマスのさらなる利用に向けて」を開催致しました。後者は地球温暖化対策の第一人者である茅陽一先生に特別講演をお願いし、難しい問題を平易にお話しいただくことができました。加えて、バイオマスエネルギー利用に関しても、地域で商業化されている技術に加えて、最新の技術に関する情報を発信することができました。また、地域貢献という観点から「エネルギー教室」として、鳥取県西部地域において小学生を対象として父兄と一緒に再生可能エネルギーの現場を見学し、地元企業の活動を直接見聞する機会を得ることができました。

さて、2020年度は本研究所が本学のSDGs（持続可能な開発目標）の取組を推進することになりました。これまでは、主に自然科学の分野をカバーしてきましたが社会科学的な要素が入り、本来の意味でのサステナビリティを追求することになったともいえそうです。

これからも、サステナビリティ研究所に対して、ご支援とご協力をいただくことをお願いして、ご挨拶に代えさせていただきます。

2020年3月31日 記

横山 伸也

(前 サステナビリティ研究所長)